

平成30年度 事業計画

公益社団法人加東市シルバー人材センターは、定年退職者等を会員として、就業の場を提供することにより、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある健やかな地域社会づくりに重要な役割を果たしてきました。

そうした中、当シルバー人材センターを取り巻く環境は、各企業等が雇用延長に取り組む反面、センターでは、会員の高齢化により退会者が多く、新規入会者も多くは見込めず会員登録数に大きく影響しています。

そのため、新規取引企業等の要望に十分対応できない状況が発生しております。

また、公共事業でも、作業が遅れる傾向となり、会員不足の悪影響が出ています。

そのような状況のなか、職群班をはじめ会員皆様のご理解、ご協力をいただき地域間共助の取り組みにより会員間交流を深めながら事業の進展を図り、経営改善に努めなければなりません。

当センターの事業運営に当たっては、「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、適正な事業運営の推進を図ります。会員の自発的、積極的な運営協力をお願いするとともに、各関係機関の連携をさらに密にして、より効率的な運営を目指し、常に顧客満足度の向上と適応業務の拡大を意識して事業推進を図り、地域社会の理解と協力を得ながら、次に掲げる諸事項を積極的に推進します。

1 経営改革の取組み

国のシルバー補助金制度が変更になり、サポート事業による就業機会の拡大・会員拡大が一層強く求められます。

一方、加東市の補助金も増額が見込めないなかで、引き続き、会員の皆様や、職群班等のご協力をいただき、職員とともに経営意識を常に持ち、効率的な業務の運営をめざします。

2 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供

官公庁、全シ協、兵シ協(連合)等から就業に関する情報を収集し、「シルバー加東」「加東市シルバー便り」の発行及び「ホームページ」の掲載等により会員に情報を提供して事業の推進を図ります。

3 入会説明会の開催

新入会員や入会希望者を対象に毎月中旬に説明会を行っており、シルバーの仕組み、就業の提供、会員の責務・安全作業などを説明し、会員の加入促進と事業内容の浸透を図ります。

4 高年齢者の就業に関する調査及び研究

研修会や兵シ協が主催する会議を通じて情報の交換、近隣センターと意見交換等を行い情報収集をし円滑な事業推進に努めます。

5 高年齢者に対する就業相談の実施

- (1) 就業相談を常時行う。
- (2) 未就業会員を対象に就業相談を行う。
- (3) 新入会員の募集を積極的に進める。

6 高年齢者に対する就業機会の確保及び提供

- (1) 官公庁、民間事業所及び一般家庭を対象に会員の能力に合った仕事を確保し、会員に対して就業機会の提供に努めます。
- (2) 平成30年度事業の開拓目標を「別表」のとおり設定しました。

7 一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又は、その他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者にシルバー派遣事業を実施する。

また、協会と緊密な連携を図りながら、高年齢者の多様な働き方の選択肢として実施する。

8 高年齢者に対する知識・技能講習会の開催

会員の技能修得、向上を図るため講習会、安全作業研修会を開催します。

9 安全就業対策実施計画

(1) 計画の目標

- ① 就業中の事故の絶滅を図ること
- ② 交通事故(就業先等との往復途上の交通事故)の絶滅を図ること
- ③ 健康の積極的な保持増進を図ること

(2) スローガン

「気をつける 慣れた作業と 気のゆるみ」(加東市シルバー人材センター)

(3) 主要な安全就業対策の推進

安全・適正就業委員会の安全事業計画の樹立及び実施や毎月発行の「加東市シルバー便り」での安全啓発による事故のない、加東市シルバー人材センターを築き上げていかなければなりません。

従来から実施してきました作業現場単位の安全管理から、シルバーの組織全体を対象とする安全面の追及が求められます。

このような観点から、平成30年度の取り組みとして、安全就業対策実施計画の目標達成に向け、着実な実施を図ります。

① 安全管理体制の確立と安全管理活動の活性化、定着化

- ア. 安全・適正就業委員会による安全対策会議の開催。
- イ. 事業活動と一体となった安全管理計画の作成及び計画的実施。
- ウ. 職群班の班長等による安全管理の推進。

※ 集団の安全活動推進のため職群班の班長等による安全に関する責任と権限を明確にした実効ある運用。

※ 仕事別の現場作業手順の確立及び班長等による適切な作業指導、援助体制

の確立。

※安全衛生に係る知識及び作業管理手法等のノウハウの着実な継承。

②就業の適正化に関する基準等の活用

ア. 安全・適正就業委員会専門委員会で、問題が生じた時等の措置について協議を行い、発注者の信頼確保と会員の健康等を管理。

③安全教育の実施

- ア. 毎月実施している新規入会者に対する入会説明会時の安全面の指導。
- イ. 安全就業に対する講習会等の実施。
- ウ. 作業安全・交通安全等の啓発活動。

④安全意識の高揚

- ア. 毎月、配分金通知に同封している「加東市シルバー便り」による事故防止の啓発。
- イ. 安全・適正就業委員会による事故事例の分析、具体的な自己防止対策の樹立及び周知、徹底。
- ウ. 現場打合せ等の実施。
- エ. 安全日の設定と現場の安全パトロール等の実施。
毎月20日を「安全の日」と定めて、職群班ごとの自主点検を実施する。また、必要に応じて、相互安全パトロール(相互安全診断)を実施。
- オ. 「安全就業推進強化月間」の設定と現場の安全パトロール等の実施。
全シ協・兵シ協が進める7月1日から7月31日までの「安全就業強化月間」に、安全・適正就業委員等による安全パトロール等を実施。
- カ. 「事故ゼロ運動」表示板の活用。
- キ. 安全祈願祭の実施。

⑤保安用具の購入、貸与とその着用状況の確認、保護具等の保守管理体制の充実。

⑥健康の保持増進対策の推進

健康を保持増進していくため、心身両面にわたるトータルな健康づくりの促進を図る。

- ア. 健康状態(心身の機能の変化等)を把握する
- イ. 住民健康相談、人間ドック等の受診を奨励、促進
- ウ. 健康に関する情報の提供
- エ. 禁煙対策の自主的な取り組みを促進

10 その他の事業

- (1)兵シ協 事務集中化に業務全件入力し、事務処理の軽減に努めます。
- (2)会員の親睦及び相互共助並びにセンター発展のために互助会事業を行う。
親睦旅行の実施
ボランティア活動の実施
- (3)公益社団法人として、会計処理及び事業の適正実施を維持させるため、引き続き税理士の確認、指導を受けます。

平成30年度 事業の開拓目標 シルバー請負等事業

区分 職業分類	仕事の内容	民間事業		公共事業	
		延人員 (人)	事業収入 (千円)	延人員 (人)	事業収入 (千円)
事務的職業	市受付・筆耕 一般事務 宛名書	1,190	5,460	890	5,630
サービスの職業	夜間管理・施設管理 管理室受付	2,250	13,420	1,330	3,850
農林漁業の職業	剪定・育苗作業・日役 農作業補助・公園管理	1,790	14,720	1,160	9,870
生産工程の職業	検品作業・溶接 組立加工	1,940	13,730	10	50
輸送・ 機械運転の職業	学校給食配達 送迎バス運転	30	170	670	4,390
建設・採掘の職業	発掘・左官業	20	280	50	400
運搬・清掃 包装等の職業	草刈・草引き・清掃 包装・苗配達	20,130	108,320	16,440	82,210
合 計		27,350	156,100	20,550	106,400
		就業延人員(人) 47,900		総事業収入(千円) 262,500	

シルバー派遣事業

区分 職業分類	仕事の内容	民間事業		公共事業	
		延人員 (人)	事業収入 (千円)	延人員 (人)	事業収入 (千円)
管 理の職業	商品管理	560	4,960	0	0
一般作業の職業	清掃・工場内軽作業等	1,740	10,240	0	0
合 計		2,300	15,200	0	0